

4 各種モニタリング

(1) 空間放射線量測定

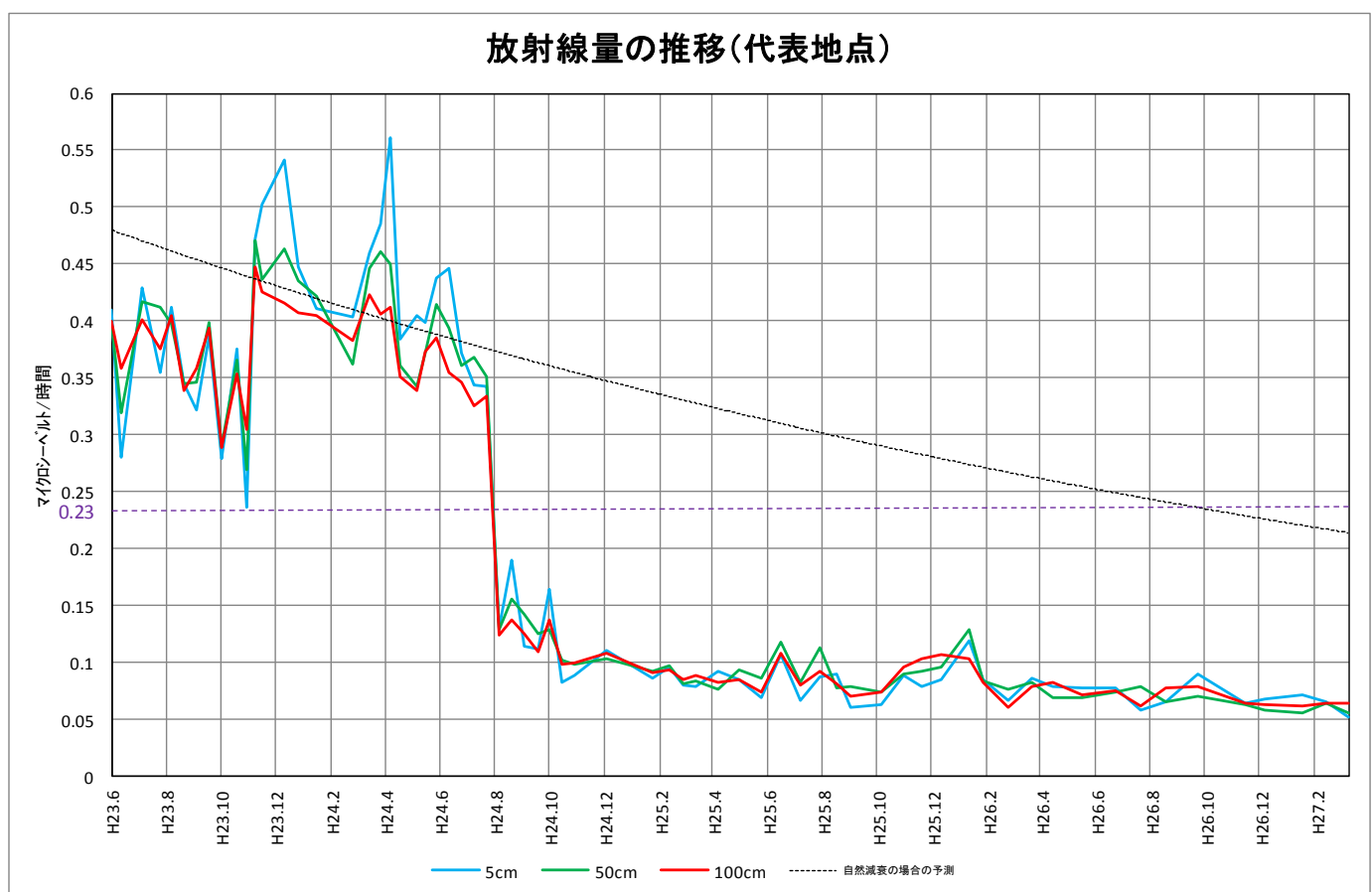
定点における空間放射線量測定

平成 23 年 5 月 31 日に保育所・小学校・中学校・公園の 48 施設の放射線量を測定した。それ以降、平成 26 年 3 月までは、対象施設を拡大するとともに測定頻度を増やし、173 施設で 3,051 点を毎月 1 回の測定を実施して、市広報紙やホームページで公開した。

また、公共施設の除染は平成 25 年度末までに完了しているため、平成 26 年 4 月からは保育所・小学校・中学校を毎月、公園等は四半期ごとの測定としている。

下のグラフに示されるように、除染、自然減衰及びウェザリング（降雨等による移動）により低減化していることがわかる。

※使用測定機器は TCS-172B（日立アロカメディカル製）又は Radi1000（堀場製作所製）



(2) 土壌汚染状況測定

平成 23 年 5 月 31 日に保育所・小学校・中学校・公園の全 48 施設の除染前の放射線量を測定と同時に土壌のサンプリング調査により放射性物質の濃度測定を実施した。

その後、平成 25 年 6 月 12 日に再度除染後の土壌のサンプリング調査により放射性物質の濃度測定を実施して放射能濃度が低くなっていることを確認した。

測定結果(平均値)

単位:Bq/kg

	H23.5.31	H25.6.12
幼稚園	732	29
保育園	257	153
小学校	548	117
中学校	700	131
公 園	1,256	139

※幼稚園・保育園ともに公立のみ

(3) 地下水の放射能濃度測定

平成23年4月5日に飲料用として使用している地下水について市内6ヶ所（宮内青年館、結縁寺青年館、竹袋青年館、本埜公民館、吉高地区構造改善センター、岩戸地区構造改善センター）をサンプリングして、ヨウ素-131、セシウム-134、セシウム-137の放射性物質の濃度測定を実施した。

また、平成24年・平成25年及び平成26年度も同様に市内7ヶ所（宮内青年館、結縁寺青年館、竹袋青年館、本埜公民館、吉高地区構造改善センター、岩戸地区構造改善センター、萩原地区構造改善センター）をサンプリングして、ヨウ素-131、セシウム-134、セシウム-137の放射性物質の濃度測定を実施した。

平成23年・平成24年・平成25年及び平成26年の測定結果は全て検出限界値未満となり、放射性物質が地下水へ移行していないことが確認された。

	H23. 4. 5			H24. 8. 27			H25. 10. 9			H26. 10. 9		
	ヨウ素 131	セシウム 134	セシウム 137	ヨウ素 131	セシウム 134	セシウム 137	ヨウ素 131	セシウム 134	セシウム 137	ヨウ素 131	セシウム 134	セシウム 137
宮内青年館	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
結縁寺青年館	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
竹袋青年館	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
本埜公民館	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
吉高地区構造改善センター	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
岩戸地区構造改善センター	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
萩原地区構造改善センター				不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出

(4) 積算線量計による外部被ばく量測定

平成 23 年 10 月 1 日～平成 24 年 9 月 30 日と平成 24 年 11 月 1 日～平成 25 年 10 月 31 日の 2 年間にわたり積算線量計による外部被ばく量測定を幼稚園・保育園・小学校・中学校等（幼稚園・保育園は私立を含む）の子ども関連施設において施設関係者の協力をいただき実施した。その結果、年間 1 ミリシーベルトには達しないことが確認された。

	H23. 10. 1～H24. 9. 30 年間推定積算線量 (mSv)	H24. 11. 1～H25. 10. 31 年間推定積算線量 (mSv)
幼稚園（私立含む）	0.075～0.336	0.055～0.212
保育園（私立含む）	0.165～0.356	0.101～0.262
小学校	0.088～0.461	0.086～0.201
中学校	0.112～0.219	0.088～0.234
学童クラブ	0.061～0.249	0.046～0.136

(5) ごみ焼却灰の測定

印西地区環境整備事業組合は、平成 23 年 6 月 29 日に印西クリーンセンターにおける焼却灰の放射性物質の濃度測定を実施した。

その結果、焼却灰(飛灰) から国の基準である 8,000Bq/Kg を超える放射性セシウムが検出され、指定廃棄物として約 130 トンを保管している。

しかし、下図のとおり放射能濃度は減衰しているため、平成 23 年 8 月 10 日以降は 8,000Bq/Kg を超える放射性セシウムは検出されていない。

